

# 患者・利用者の 「活動と参加」のある 在宅生活をデザインする！！

第4回 多職種リハビリ勉強会  
Medical  
Joint  
Festival  
KRSW

～急性期・回復期の病棟チーム力と生活期資源を高めるためのアクションとは！？～

日時：平成28年4月16日（土）13:10～18:10（受付開始12:20）

場所：横浜開港記念会館 講堂（当日問い合わせ ☎ 070-6577-4953）

定員：450名 [事前申し込み必要] -申し込み方法は裏面をご参照ください-

参加費：2000円（学生500円）

主催：神奈川県回復期リハビリテーションソーシャルワーク(KRSW)研究会 多職種リハビリ勉強会実行委員会

後援：神奈川県医療社会事業協会／公益社団法人神奈川県理学療法士会／一般社団法人神奈川県作業療法士会／神奈川県言語聴覚士会

一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会／特定非営利活動法人神奈川県介護支援専門員協会／一般社団法人東京都医療社会事業協会

子供同伴OK！  
フリースペースあり

## 基調講演

13:30~14:30

13:15~13:30

資料動画を上映

### 在宅生活に活かすためのこだわりのある 病棟運営と病棟アプローチ

石川 誠 氏



石川誠（いしかわまこと）  
群馬大学医学部卒。脳神経外科医、リハビリ専門医  
初台リハビリテーション病院  
創設者、長嶋茂雄 ジャイアン  
ツ終身名誉監督の主治医、平  
成20年船橋市立リハビリテ  
ーション病院を運営。現理事

医療法人社団 輝生会 理事長 一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会常任理事

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会理事 一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会顧問

## 記念講演

14:40~16:00

### ソーシャルワークをベースに、利用者の 『活動・参加』へ向けたリハビリテーション風の取り組み

小室貴之 氏 楓の風グループ代表



小室貴之（こむろたかゆき）立教大学大学院卒。社会福祉士・経営学修士。病院MSW、医療法人経営を経て2001年NPO 楓の風を設立。訪問看護とリハビリ型デイを中心に在宅療養支援活動を展開。在宅看取り率20%実現を目指す。2014年10月に内閣府直系政府ファンドより出資を受け、国策として本活動に取り組む。FCを含む通所施設は34施設、訪問看護ST15拠点、在宅療養支援診療所2箇所。

## シンポジウム

16:15~18:05

### 多職種の視点で描く在宅生活のデザイン！

座長 石川 誠氏

大森 豊 氏（理学療法士：(有)訪問看護リハビリテーションネットワーク・川崎市中部リハビリテーションセンター・代表取締役）

関谷宏美 氏（作業療法士：甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション部副部长・回復期セラピストマネージャー）

猪川まゆみ 氏（看護師：鶴飼リハビリテーション病院 副看護部長・回復期リハビリテーション病棟協会看護委員会委員長）

榎原次郎 氏（医療ソーシャルワーカー・社会福祉士・介護支援専門員：霞ヶ関南病院 医療福祉相談部部长）

\*シンポジスト紹介 各論のキーワードは裏面に詳細あり

# シンポジスト紹介 ~シンポジウム keyword~

- MSWのアプローチ ■エンパワメント ■他職種から何を求められているか ■セラピストに必要な感性 ■退院後、患者は自立する？
- サービスのマッチング ■患者のニーズを成就する為のケアマネとの連携 ■在宅生活に活かす看護とは？ ■急性期のアセスメント等

**大森 豊 (理学療法士)** 聖マリアンナ医科大学病院で理学療法士として急性期リハビリテーションやスポーツ医学を学びました。現在は訪問看護ステーションを経営しており、平成28年4月開設予定の川崎市中部リハビリテーションセンターの指定事業者として、また神奈川県理学療法士会の地域包括ケア推進委員として地域リハビリテーションに視点を置いて活動中。地域の障がい者が安心して暮らせるためのサポートを念頭に理学療法的な視点で活動・参加に資するアプローチとは？という部分を考えています。

**関谷宏美 (作業療法士)** 山梨県は高知県に次ぐ回復期リハビリ病棟のベッド数が多い地域です。その激戦区の中で、地域の連携・協働を通じ、病院の特色を活かしながら運営、入院から在宅までの患者サービスの質の向上に寄与しています。勉強会では、回復期セラピストマネージャーの立ち位置からチーム協働と急性期・回復期・生活期の連携の視点を検討。考えてみませんか？例えば、患者のライフワークをリハビリに取り入れ、患者の要望と能力の不一致が生じた時、作業療法士のアイデンティティとは何でしょう？

**猪川まゆみ (看護師)** 大学病院での急性期看護、在宅ターミナル患者への訪問看護を経て、初台リハビリテーション病院入職、看護師長・病棟チームマネージャー後、教育管理部署看護師・介護福祉部門チーフ。現在は鶴飼リハビリテーション病院入職。急性期・回復期・生活期を経験したことを基に、急性期・回復期の入院中から在宅生活期を見据えてリハビリ看護をすることが退院後の生活に影響すると考えます。看護師の専門化・細分化が進み、各々の看護師は何を求められるのか？生活の質を高める看護とは？

**桐原次郎 (医療ソーシャルワーカー)** 霞ヶ関南病院では患者抑制ゼロ.0(車いすベルト抑制含)を取り組み、入院相談面接でも抑制しない病院理念や安静度から活動度への関わりなど、回復期・生活期への移行について説明と合意がなされます。その中、氏は現在、MSWの視点をもって介護支援専門員の業務にも携わり、入院生活・在宅生活にて患者・家族へのエンパワメントアプローチなどを駆使し、個別アセスメントに基づき、根拠について説明ができるケアプランの検討をされます。そこで考えてみた。MSWの価値とは？

2016.4.16(土) ~多職種リハビリ勉強会~ 参加申し込み FAX送信票

**FAX 番号 0467-33-1879**

事務局：鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 地域連携事業部 宛

所属機関名：			
氏名/職種 [ ]		氏名/職種 [ ]	
氏名/職種 [ ]		氏名/職種 [ ]	
氏名/職種 [ ]		氏名/職種 [ ]	
TEL&FAX	TEL	FAX	

問い合わせ：半沢英明 (医療ソーシャルワーカー) 田中宇徳 (理学療法士) 坂田裕美 (看護師)  
 お願い：席の確保などの都合上、キャンセルの際は必ずご連絡 (TELまたはFAX) をお願い致します。



☎0467-32-4125 聖テレジア病院  
 Email : [chiiki@st-therese.jp](mailto:chiiki@st-therese.jp)

会場：横浜開港記念会館 アクセス

- ◆ みなとみらい線 日本大通り駅 はす向かい (みなとみらい線 横浜～日本大通り約6分)
- ◆ JR関内駅 徒歩15分
- ◆ 地下鉄関内駅 徒歩10分
- \* 会館には駐車場はございません。

— 神奈川回復期リハビリテーションソーシャルワーク研究会 & 多職種リハビリ勉強会実行委員会 —  
 MSW有志

- 済生会神奈川県病院 西横浜国際総合病院 新横浜リハビリテーション病院 横浜なみきリハビリテーション病院  
 東海大学大磯病院 新戸塚病院 朝倉病院 さがみりリハビリテーション病院 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院  
 病院 秦野赤十字病院 湘南鎌倉総合病院 横須賀共済病院 横浜栄共済病院 横浜市立脳卒中・神経脊髄センター  
 【SV】 鶴田光子 (MSW) 成田すみれ (ケアマネジャー) 金子秀子 (MSW) 【顧問】 伊藤利之 (リハビリ専門医)